

ゆきうさぎ

YUKIUSAGI

いわや 岩谷医院会報 第13号 平成18年5月14日

岩谷医院

〔開院記念号〕

院長 岩谷 文夫 (循環器専門医、心臓血管外科専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

岩谷医院ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

5年目を迎えた岩谷医院

地域でのよりよき医療を目指してここ太田町に開院した岩谷医院は5年目を迎え、開院記念日の5月14日発行となるこの会報『ゆきうさぎ』も13号になりました(ちなみに岩谷医院のホームページではそのすべての号をご覧いただくことが出来ます)。太田町や矢剣町の皆さんを中心に、多くの方々に支えられ、心臓や血管の病気など循環器を中心としたあかるい内科医院のイメージが少しずつ定着されつつある実感をスタッフ一同感じております。登録患者さんは2500人を越え、院長、副院長の2人体制の日でも少しずつ待ち時間が長くなってしまいます。それでも午後の診療にはまだ余裕がありますので予約日の状況を確認され、午後の診療も考慮していただければ幸いです。その際食事抜きの血液検査がある場合は午前中の採血になりますが、採血のみでの来院では、再診料や管理料などは支払う必要がありませんので、時間がある方は診察予約日の何日か前に検査をしておき、診察日には結果が聞けるというのも一方法と思います。じっくり話が出来る医院を実践するためには工夫が必要です。皆様のアイデアもお聞かせ下さい。

院長より一言

今日は5月7日の日曜日。今朝のテレビの健康番組で、休み明けの月曜日は他の曜日に比し、血圧が高くなる傾向にあり、そのためか脳梗塞の発症率が高いとのことでした。とくにこの連休明けは要注意という話をしていました。主にサラリーマンを対象とした調査でしたが、その原因として、仕事が始まることへのストレスや、睡眠不足を挙げていました。そしてその対策として、ある先生は休日の過ごし方が大切として、①休日には朝寝坊をしない、②趣味を楽しむ、③昼寝は長くても30分位、④お風呂は夕方早めにゆっくり半身浴をする、⑤月曜日の仕事に良いイメージを持つ、の5つのことを話されていました。でもこれってサラリーマンでなくても大事なことですよね。高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病は動脈硬化を進行させます。そして今朝の新聞には厚生省研究班の調査として喫煙、肥満、運動不足の人の医療費はそうでない人に比べ4割も高くなるという記事が載っていました。健康管理はあなたと医療機関との共同作業です。平均寿命より健康寿命が大切です。お互いに頑張りましょう。

連載(その2)

心臓手術から三十年、

多くのの方々に感謝して

—1回目の手術、そして退院—

伊達市梁川町 酒井 知子

麻酔から醒め、気が付いたときは全身水囊に囲まれ酸素テントの中。何箇所かの点滴やカテーテルそして心電図などのモニター類など種々の医療器具が全身につけられ、看護師さんが、水囊、点滴や身体に巻かれたタオル交換など忙しく働いている姿を目で追いつながらも頭の中は朦朧として目を閉じてても、口が渴いて目が覚めるを繰り返して、お願いして口に入れていただいた氷の美味しかったこと。また二日目頃からは家政婦さんが付き添いましたがそのときいただいたメロンの一切れは世界中でこんな美味の果物があるのかと今でもあのときの氷とメロンの味はわすれられません。

日を重ねるごとに水囊の数が少なくなり左右の腕に付いた器具を取り外しながら「頑張ったね、心臓病棟に戻るよ!」とおっしゃってくださったのは高野先生でした。二十四時間体制で一週間も付き添っていただいた先生方や看護師さんの「おめでとう」の言葉に送られて心臓病棟に戻りました。病室に移ってはじめて心臓が動いていることを実感しました。「私は再び生を受けられたのだ!」心の中でこの喜びをいただいた先生方、看護師さん、そして主人、家族、両親、兄弟に感謝しました。病棟に移って早々に富樫婦長さんがみえ、「おめでとう、これからは自分の足でトイレに行きなさい。車椅子は検査のときだけです」と言われ、『まけないぞ』と左手で胸の傷を押さえ、右手ですりや柱につかまり、ソロリ、ソロリとトイレに行きました。本多教授のはじめの総回診では、先生は傷の状態よりも絆創膏負けの皮膚を見て、「これは何だ、すぐ絆創膏を変えなさい」と言われ、婦長さんは大慌て。本多先生は怖い先生と思っていました。総回診以来岩谷先生の姿が見えないので猪狩

先生に伺いましたら、「ああ、先生は奥様とアメリカに留学されましたよ」と話されました。その後アメリカからは浜田先生が帰国され回診していただきました。昭和五十二年二月に退院となりました。当時中学受験で勉強と家事を守ってくれた長女、小学一年生の長男、仕事、家族、病院と気の抜けない日々を送りながら頑張ってくれた主人、そして現在の私の年齢ぐらいたったか、留守を守ってくれた母。家族全員が私の退院を温かく迎えてくれたことが何よりも嬉しかったことでした。(つづく)

「つつかけ」で行く岩谷医院

福島市太田町 飯田 輝男

私の家は太田町郵便局の前のマンション。いわば岩谷医院の向い側ですから、毎月の診察に、つい「つつかけ」を履き「通院手帳」を手にして行くこともあり。でも、この待合室は、その「つつかけ」を歓迎するような、一方では、いさめるような雰囲気、ゆったりとした、穏やかな時間が流れ、他の病院にはないような、暖かいムードに包まれています。待っている間に私の心が癒やされるのです。

ヒヤシンス医療をかかげている岩谷医院の良さは、つつかけで行けるような、「ひ」らかなれた医院、つつかけで行っても心が癒やされる「やさしさ」、他院にはない、独自の通院手帳を発行されている先生の「しん」せつで、「す」ぐれた医療体制であって、信頼される、ご近所のファミリードクターそのものですね。

診察の前後に、私はバードウォッチングの話や先生にします。隣の野田町に流れる荒川の川沿い道で「昨日はキジを見ましたよ」など、この道で出会う野鳥の愛らしさを話しますと、先生は目を細めて、その話を「ゆきうさぎ」に書いてほしいと依頼されたのです。

次回から四回、四季の荒川周辺で見かける野鳥の種類愛らしさ、さえずり等を書きましよう。

福島に来られてそんなに経っていないのにこよなく福島の自然を愛されています。ボランティアで花見山の案内人もされているそうです。[院長]

短歌、俳句、川柳

坂大りんさん(福島市佐倉下)

短歌

春彼岸 吾が子眠れる サンデイエゴ
WBC 日本世界一

早や四年 庭坂育ち 菓立ちゆく
都の宙(そら)に 夢追いかけて

*油井京子さん退職を詠む

俳句

耐えて咲く 球根の花 ヒヤシンス

トリノ五輪 銀盤の舞姫 金メダル

川柳

ゆきうさぎ 4歳になり 幼稚園

*医大を目指し勉強中

小丸孝也さん(福島市蓬萊町)

川柳

春が来た ドブロクが来た 酔いが来た
のし歩く 我が物顔の 非常識

延命が 生死(しようじ)の在り方 浮き彫りに

生き方が 心の窓の 顔に出る
噛みついて みたが逆に 噛みつかれ

生命の 生きる証は 噛む力
淡い恋 歯形の痛み ほろ苦い

百歳だ 老後に供える 祝い金

俳句

氷上に 大輪咲かす イナバウアー
初鉄に いのちを込めし 息吹かな

ものものの 気高き心や 散る桜
悠然と わが道をゆく 鯉のぼり

雪柳 気品を乗せて 風に舞う

ホノルルマラソン

福島市庭坂 高木将寛

私は先天性疾患のファロー四徴所という病気で、岩谷先生の下、二度の手術を受けました。そんな私が何故フルマラソン(四一・一九五km)にチャレンジしたのかと言うと、某テレビ番組で両足義足の障害者が、松葉杖を使いながら十三時間の時間をかけて完走したという事に感動し、自分もチャレンジしてみたいと思ったのがきっかけでした。

そもそも健康の為、週三〜四回五・〇km程度のジョギングはしていましたが、フルマラソンには初挑戦の為、どのくらい過酷なのか検討もつかなく、練習メニューに戸惑いました。

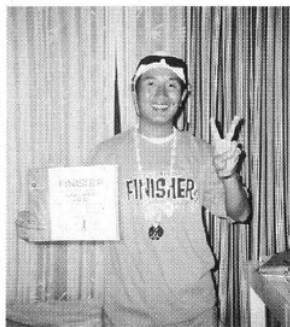
健康になったとは言え、無理は禁物な体です。そこで行なった練習が五・〇km走って五・〇km歩き、心臓にあまり負担をかけないで足腰の関節を強化するという方法です。正直本番直前までこの程度の練習で完走できるのだろうか?と不安でした。

そして、四ヶ月間の練習を経てついに本番を(十二月十一日)迎え、参加人数三万人の中、花火の号砲と一斉にスタートを切りました。

前半は練習通り五・〇km走って五・〇km歩くペースで行い、時折給水地点で休憩を入れ(不整脈は無いかな?心拍数は正常かな?)など体調を確認しながらレースを進めて行きました。

後半になっても練習の甲斐あってか?疲れも残らず楽しくレースを進められ「少しペースを上げようかな?」と思います。気温が上昇し始め(約三〇℃)座り込んだり、倒れて救急車で運ばれる人も多数出はじめ、それを見て「無理は禁物」と言うことばを思い出し、六時間三十分と決して早いタイムではありませんが楽しく完走することができました。欲を出せばもっと早いタイムでゴール出来たと思いますが、無事完走できたことが自分の最良のレース結果だったと思います。

最後に、このような経験をできたのも岩谷先生をはじめ家族やお世話になった皆様のおかげだと大変感謝しております。



まさか完走するとは！。結果を聞いたときの正直な気持ちでした。挑戦する気持ち、本当に勇気づけられますね。おめでとう！【院長】

『ありがとう』

福島市笹谷 佐藤順子

病気とつき合い始めて二十三年、発病してからは先生をはじめ多くの方々に支えられ励まされて今日があります。発病した時「なんで自分がこんな病気に！」と愕然となり、泣いて過ごす日々。この時程、自分の運命を悲しんだ事はありませんでした。

でも、この病気のお陰で多くの人に出逢い沢山の事を学ぶことが出来たのです。病気にならなければ「通れなかった道」この苦しみ悲しみが大きく自分を変えてくれたのです。

毎日がつらく悲しい日々、グチを言っ先生に励まされ泣いたり笑ったり、今こうして生活出来る事がとても幸せです。今日まで走り続けてきた二十三年間、眠る時間も惜しいくらいです。一秒たりとも休まず動き続けてくれる心臓に感謝です。

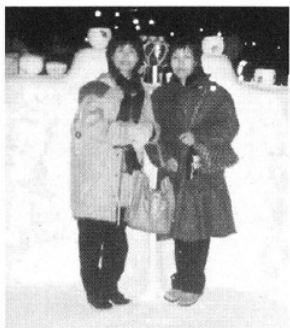
♥本当にありがとう♥

子育てから手が離れ、やっとホッと出来る今、心臓に問いかけながら、ゆっくりのんびり時間を送りたいと思いい、ここ二年の間、三時間のパートに出て人との出会いを楽しんでいるところです。

今年の二月には同級生と二人で北海道へミニ旅行へ出かけました。寒風の中に灯る小樽の「雪あかりまつり」とてもとても、ロマンチックで幻想的で、この世とは思えない光景でした。寒さなどこへやら、新鮮な魚介類に舌づつみをうちながら、飲んだビールの美味しかったこと。札幌の町並でも食べ歩き!!又、思い出が一つ増えました。

もともと体を動かす事が好きな私に思ってもいない朗報が飛び込んで来ました。

以前働いていた職場から声がかかり、四月から働く事が決まったのです。職場は保育園。子供達の元気な声を聞きながら働く事で、命の尊さを深められるのではないかと思います。「ピンチはチャンス」私の大好きな言葉です。



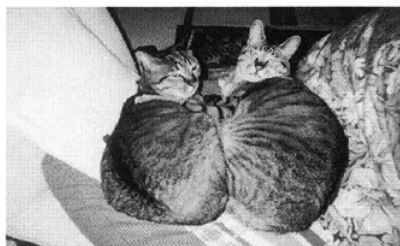
病気の「病」は先生におまかせ。「気」は自分で切り開いて、これからの人生を楽しもうと思える今日です。これからの人生も大いに楽しんでください。【院長】

菊地家より紹介する第1号はマーちゃん(左)とみーちゃん(右)です。

我が家のペット③

隣の家の中に居たところを見つけてもらいました。家族の愛に包まれてとっても幸せ。おかげでこんなに太ってしまいました。第2号、第3号も居るんですよ。次回発表します。乞う、ご期待。

福島市南沢又(菊地家)



医院便り

医療事務の油井京子さんが4月で退職され、高橋奈津子さんが新しく医療事務のスタッフの一員として加わりました。もうすでに会われた方も多いかと思いますが明るく爽やかな笑顔が魅力的です。

本人より一言：福島県立医科大学で8年ほど医療事務の仕事をしておりました。以前の職場を辞め不安でいっぱいでしたが、院長、副院長をはじめスタッフの皆さんにとっても優しくしていただき毎日楽しく仕事をさせていただいております。早く仕事や医院の雰囲気にもなれ明るく元気に頑張りますのでよろしくお願いたします。



医院からのお知らせ



【福島市市民検診のお知らせ(予定)】

- 1) 実施期間
平成18年7月1日(土)~11月30日(木)
- 2) 検診内容
基本検診、肺がん一次検診(胸部レントゲン検査)、大腸がん一次検診(検便)、肝炎ウイルス検査

【個人情報保護に関して】

当院では個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。個人情報の利用目的については院内に掲示してありますのでご覧ください。

個人情報の取り扱いについてお気づきの点がありましたら受付までお気軽にお申し出下さい。

【診療について】

副院長は火曜、水曜の午前中のみ大原総合病院での診療になります。それ以外の日は、院長、副院長の2人体制になりますので、以前より待ち時間は少なくなっています。また診察の順番は患者さんの状態により変わることがあります。ご了承下さい。

【駐車場について】

医院横の7台の駐車スペースの他に小島薬局の駐車場も空いている場合には利用可能ですので受付にその旨お知らせ下さい。雨のときは駐車場および玄関前はすべりやすくなっておりますのでご注意下さい。玄関にはタオルを用意しておりますのでご自由にお使い下さい。

保険証：保険証は事務処理上毎月必要となりますので、その月の初回来院時には必ず受付に提出してください。

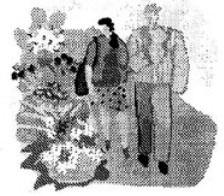
あ と が き

今回もたくさんの原稿をありがとうございました。飯田さんの連載も楽しみですね。佐藤さんの人生をエンジョイする前向きな姿、高木君のチャレンジ精神そして酒井さんの半生。患者さんからの言葉は日常診療へのメッセージです。大きな励みになります。坂大さん、小丸さん、素敵な作品をこれからも期待しています。

医療一口メモ

診療報酬の改定の一部についてのお知らせ

(平成18年4月1日から実施)



【改定】生活習慣病管理料

高脂血症・高血圧・糖尿病の患者さんに対して運動習慣と食生活の改善を重視する為に療養計画書の内容が変更されました。当院ではこの改定を機会に療養計画書に基づいた指導と管理を行ない、生活習慣病治療に役立てたく思っております。

【新設】ニコチン依存症管理料

たばこをやめたいと希望されていて、ニコチン依存症と診断された方に対して、禁煙に関する総合的な指導及び治療管理を12週にわたり計5回に限り、保険診療で行うことができるようになりました。従って初診料、再診療などは保険適用になりますが、ニコチンパッチは自費扱いになります。

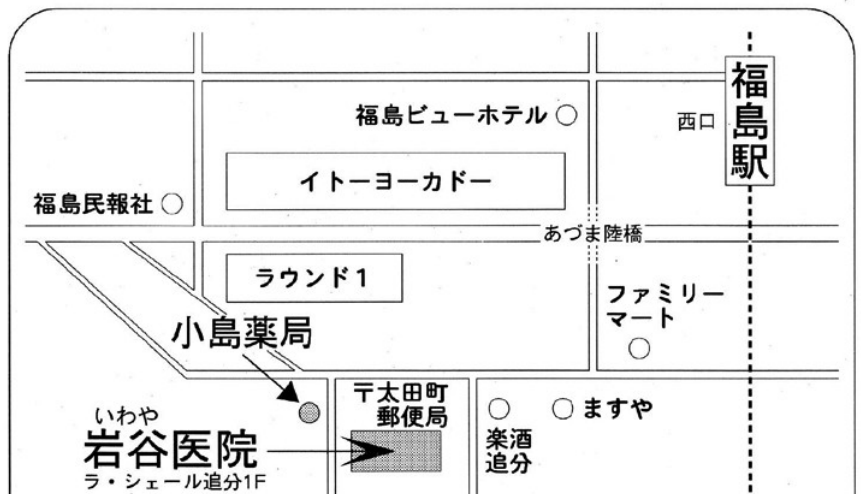
小島薬局だより

ジェネリック医薬品について

最近、「ジェネリック医薬品」という言葉をテレビのCMなどで、よく聞かれていると思います。

テレビでは、「成分が同じで値段が安い」ということしか宣伝していません。確かに、成分は同じで安いお薬があります。でも成分が同じでも、メーカーにより添加剤が異なっていたり、副作用の報告が義務づけられてないなど、情報提供の不足などがあることも、また事実です。

ですから、安いというだけで、安易に「ジェネリック医薬品を使用したい」と考える前に、主治医によく相談していただくことをお勧めいたします。



【福島駅西口より 徒歩7分】 〒960-8068 福島市太田町17-27
ラ・シェール追分1F

でんわ 024-528-7770/FAX 024-528-7780

★ 診療時間 ★

平日(木曜日を除く)は 午前9時~12時 午後2時~5時30分
土曜日は 午前9時~午後2時(昼休みなしで診療いたします)
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★ 診療項目 ★

内科疾患・循環器疾患・動脈硬化疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など